第15回議会報告会

駅西は　学校は　どうあるべきか

【開かれた議会の実現を目指して】

第15回議会報告会および意見交換会を令和元年5月18日に開催しました。参加者は町民ホールが20人、ふれあい交流センターは30人の計50人にご参加頂きました。

※詳しくは嵐山町ホームページ議会報告会報告書をご覧ください。

報告会

意見交換会

Aグループ

Bグループ

Aグループ　テーマ　「駅西周辺整備について」

●買収のめどは立っているのか。
議員　全部が立ったとは聞いていない。

●駅前道路を両側拡幅すると後ろに下がるか、移転することになる。そうなると逆に寂しくなるのではないか。
議員　そうならないためにミニ経済特区にして優遇税制をして外部から店を出しやすい環境をつくったらという意見がある。

●儲からないから店を出さないわけだ。嵐山駅には駅長がいない。そういう駅前の活性化だから困難はある。

●東口は大きなロータリーがあり、道路も広い。だが人はいない。西口も同じようになるのではないか。青写真はできているのか。

●文教都市嵐山として考えるなら、ミニコンサート、落語、演劇ができるホールがあればと思う。

●都内からツーリングに来ている。ここまで排気ガスを吸って、危険なところを通って来るより、嵐山町から（たとえば）秩父に行くように嵐山町が基地になればいい。そこには自転車のことがわかるプロがいて、汗もかくのでシャワーもあるといい。

●大型バスが入れるロータリーをつくるのはどういう理由からか。
議員　ラベンダー園、南部の企業従業員の送迎、駅に来た人の利用。

●観光に大型バスをつかうと来た人を全部乗せて行ってしまう。これでは商店街には寄らない。活性化には歩いてもらうことだ。道路の拡幅はいいが、広いロータリーは狙いが逆になるのではないか。買い物客が多いところは狭くてごちゃごちゃしているものだ。
議員　駅前道路は一方通行にしたらあのままでも歩道を広げられる。費用対効果が大事だ。

●東口と同じくらいのロータリーになるのか。
議員　駅の乗降客の人数によって補助金が決まるので東口と同じくらいと聞いている。町単独で費用を出せばもっと大きなものもつくれる。

●青写真があってこれに対して意見がありますか、というのでないと漠然とした意見交換になる。

※関係者も参加しています
（意見は要約しています）

Bグループ　テーマ　「少子化に伴う学校統廃合について」

●統廃合には平等性・予算面を考慮した。菅谷小・中学校は敷地も広くベストという見解に至った。

●子どもが七郷小にいるが、噂しか聞こえず不安。噂を聞いて町外に引っ越した人もいる。情報は早めにしたほうが良い。

●子どもが年長にいるが、早めに統合した方が良い。送りも認めてほしい。

●少人数の方が学力的には良いのでは。

●大人数になると引っ込み思案の子供は対応できるのか不安。

●七小の新入生は６人だ。だから統合は仕方ないと思う。しかし私の子供は３クラスから２クラスになり、満杯状態だ。これでは先生の目が行き届かず落ちこぼれができないか不安だ。

●落ちこぼれに関しては人数は関係ないのでは。また先生に頼りすぎるのもよくない。

●生徒が少なくなると教員も少なくなる。適正規模にしないと運営が難しくなる。ある一定の大きさにならないと集団的なものが学べない。

●統合はいつごろか。
議員　答申を受けたので今後、教育委員会で検討に入り（そこでまとまったら）、次に町長も入った教育総合会議での検討ということになる。いつごろかはわからない。

●今後は七郷小のような現象（人数減）が菅谷小でも起きてくるのでは。優秀な子どもに育てていくため統廃合はせざるをえない。したがって統廃合が良いかどうかの次元ではない。

●七郷小の子どもは足腰が強く、運動能力も高い。通学距離が長いことが関係しているのではないか。スクールバスは反対。その上、勉強もできる。少人数なればこそだと思う。先々、統合は仕方ないにしても、現段階ではこの環境を生かしてあげたい。

●小規模には小規模の良さがあると思うが、部活の運動部、文化部とも興味のあるもの、視野が広げられるものを選ぶようにするには、ある程度の人数が必要だ。またいじめがあった場合、クラス替えもできないのでは逃げ場がない。統合するなら一つがいい。

●統合するなら菅谷小のグランドは狭いのではないか。

●菅谷中のところに小・中学校を合わせた校舎を造り、菅谷小のところはすべてグランドにするということで検討してきた。

※関係者も参加しています
（意見は要約しています）